

2020年3月17日

アカデミックコンソーシアム 2020 の COVID-19 への対応

2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る救急・災害医療体制を検討する学術連合体(アカデミックコンソーシアム)(AC2020)は、このたびの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の蔓延に伴い、東京オリンピック・パラリンピック開催時の救急災害医療体制強化の一環として進めてきた仕組みや検討結果を活用し、構成団体の専門分野に応じた活動を多方面に発信しています。

日本環境感染学会と日本感染症学会を始めとする多くの学会・団体が、COVID-19の疫学、診断、治療、予防などに関する情報や指針を、各々のHPから適時に、医療従事者のみならず市民に向けて広く発信しております。日本臨床スポーツ医学会は学会員に向けて、行政機関や感染症関連学会から発信される予防や管理に関する正確な情報の入手とスポーツ関係者への適切なアドバイスを求める声明を発表しています。日本集中治療医学会と日本救急医学会は連携して、リアルタイムの全国重症患者データベースや参加者間コミュニケーションが可能なポータルサイトの構築を図り、積極的に医療従事者間の情報共有の支援をしております。また日本集中治療医学会は、オリンピック対応の一環として多数重症患者発生を想定して、地域ごとのICU病床数を集計したうえで、一時的なICU病床拡大のためのガイダンスを策定して医療従事者に発信しております。これらの一連の情報は、今回の感染患者に対する各地域の医療対応計画の立案と実践にあたり、行政部局に経時的に提示されています。

今後もこの枠組みを最大限に活かし一刻も早い収束に向けて尽力してまいります。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに係る
救急・災害医療体制を検討する学術連合体
合同委員会